

第8回リーガルオペレーションズ研究所 議事録

開催日時：

2025年11月13日（木）17時から18時30分

開催場所：

株式会社 LegalOn Technologies 本社 19階 会議室

出席者：

研究員（敬称略、あいうえお順）

打田、稻村、河野、佐々木、根橋、間宮

事務局

大原、奥村、今野、酒井、軸丸、松丸（記）

アジェンダ

- Core8 のフレームワークのレビュー（2回目）（75分）：松丸
 - Core5～8を中心とした Core の必要性・内容・範囲の議論
- 海外におけるリーガルオペレーションズの現状の報告（5分）：奥村
- 分科会のヒアリングの現状の報告（10分）：奥村

サマリー

【決定事項】

- 本定例会では、Core8 の「業務フロー」「ナレッジマネジメント」「外部リソースの活用」「テクノロジー活用」の4つのCoreを中心に、各Coreの必要性、内容、範囲について議論を行った。また、次回の定例会において、それぞれのCoreの改定案を具体的に議論することが決定された。
- 分科会のヒアリングは、次回以降の議論の後に実施することが決定された。

議事の経過

1. Core8 のフレームワークのレビュー

Core8 の「業務フロー」「ナレッジマネジメント」「外部リソースの活用」「テクノロジー活用」の4つのCoreを中心に、各Coreの必要性、内容、範囲について議論を行った。議論の概要は以下のとおりである。

(1) 各Coreに関する主な議論

- 業務フロー
法務部門に依頼が来た後の内容に集中しているため、その前の役割分担も含めたフロー設計を検討すべきとされた。

- ナレッジマネジメント
情報の蓄積と検索の両立にはテクノロジー活用が不可欠との意見で一致した。
- 外部リソースの活用
弁護士だけでなくコンサル等も含めた広義のベンダー管理とすべきとの意見が出された。
- テクノロジー活用
全 Core の基盤だが、戦略的視点を示すため独立の Core として維持するべきとの意見が出された。また、生成 AI 等の動向を反映し、単なるツール導入ではなく課題解決やデータ分析の視点を強化するとの意見で一致した。

(3) 新たな Core や再定義の提案

新たな Core として業務フローから「KPI 管理」を独立させること及び「ナレッジマネジメント」を拡張して「内部リソース活用」とする提案がされた。

2. 海外におけるリーガルオペレーションズの現状の報告

米国のリーガルオペレーションズの議論状況として、既存の CLOC 「Core12」 の浸透や深掘りが関心の中心であることや、ハイレベル人材の維持を目的とした業務の切り分け、生成 AI の対外的な利用統制等が主な論点となっていることが報告された。

基本的には既存の枠組みを深化させるフェーズであり、本研究会での議論と方向性は近いとの結論とされた。

3. 分科会のヒアリングの現状の報告

ヒアリング候補企業の選定状況について報告がなされた。また、現行 Core の修正や KPI 等の新規追加要否を含めた全体像（体系）を確定させた後、ヒアリングを行う方向とすることが確認された。